

「今、何の病気が流行しているか！」

（川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第47週）の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第47週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第47週（令和5年11月20日から令和5年11月26日まで）

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、**1)インフルエンザ 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)咽頭結膜熱**でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は21.98人と前週（15.16人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は6.76人と前週（7.03人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.24人と前週（5.81人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“梅毒の報告数が過去最多に！～先天梅毒にも御注意を～”について取り上げました。

川崎市における梅毒の報告数は、今年は第47週（11月20日～26日）までに計116件となり、現在の調査方法となった平成11年第14週（4月5日～11日）以降、過去最多となりました。

梅毒は主に性的接触により感染し、初期は潰瘍や皮しん等の皮膚症状が出現しますが、治療せずに放置すると、神経症状等を呈し死に至る場合もあります。

また、妊婦が感染すると、流産、死産となる場合や、胎児が梅毒に感染した状態で生まれる（先天梅毒）可能性があります。いずれも妊婦に対する適切な抗菌薬治療で防ぐことができますので、感染が疑われる場合はすぐに医療機関を受診しましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ／COVID-19定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

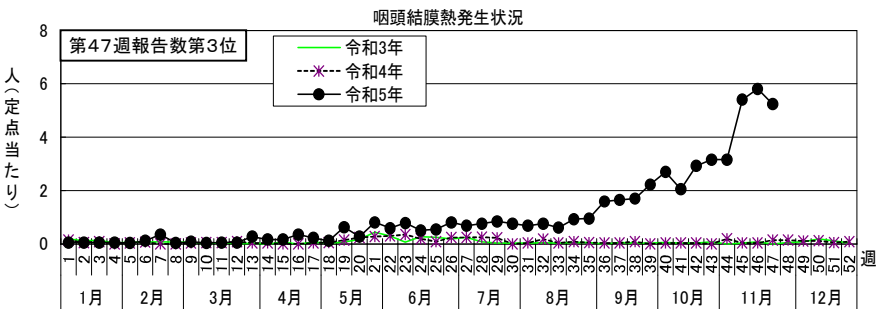
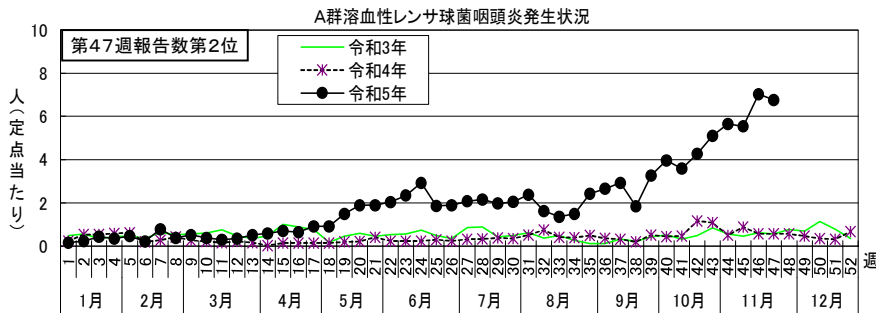
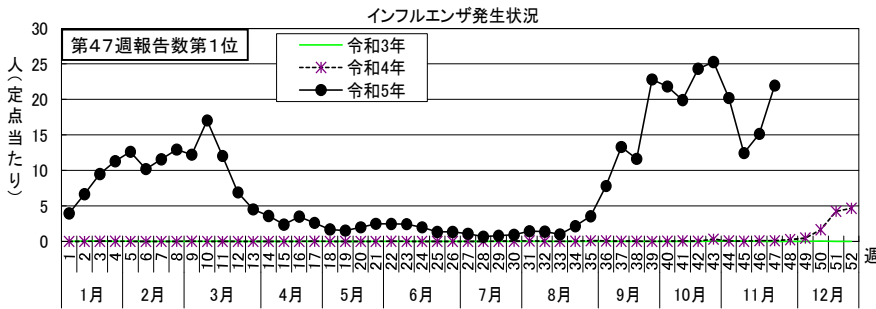
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 小田
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年11月20日（月）～令和5年11月26日（日）〔令和5年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 咽頭結膜熱でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は21.98人と前週（15.16人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は6.76人と前週（7.03人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.24人と前週（5.81人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



梅毒の報告数が過去最多に！～先天梅毒にも御注意を～

川崎市における梅毒の報告数は、今年は第47週（11月20日～26日）までにすでに計116件となり、現在の調査方法となった平成11年第14週（4月5日～11日）以降、過去最多となりました。

梅毒は主に性的接触により感染し、初期は潰瘍や皮しん等の皮膚症状が出現しますが、治療せずに放置すると、神経症状等を呈し死に至る場合もあります。

また、妊婦が感染すると、流産、死産となる場合や、胎児が梅毒に感染した状態で生まれる（先天梅毒）可能性があります。いずれも妊婦に対する適切な抗菌薬治療で防ぐことができますので、感染が疑われる場合はすぐに医療機関を受診しましょう。

先天梅毒とは？

【症状】

- 出生時は無症状のことが多い。
- 早期先天梅毒（生後数か月以内に発症）
皮膚症状、肝脾腫、骨軟骨炎等
 - 晚期先天梅毒（生後約2年以降に発症）
実質性角膜炎、感音性難聴、歯牙変形等

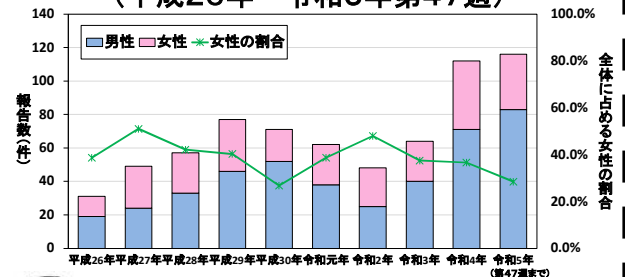
【予防】

定期的な妊婦検診、疑わしい症状がある場合の検査、早期治療、妊娠中の安全な性交渉

【治療】

抗菌薬治療

川崎市における梅毒報告数 （平成26年～令和5年第47週）



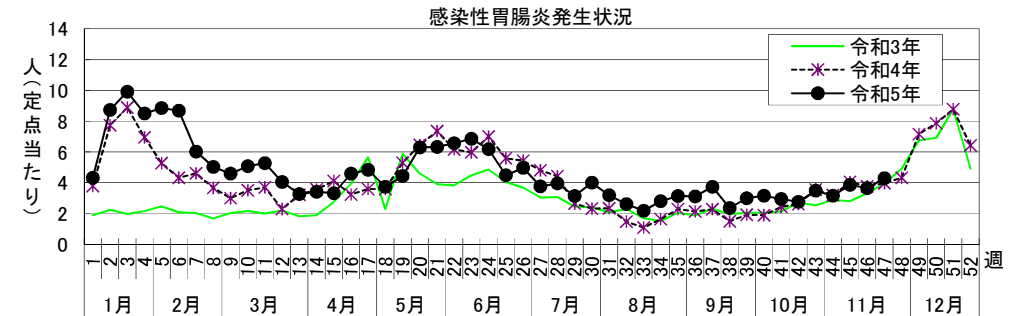
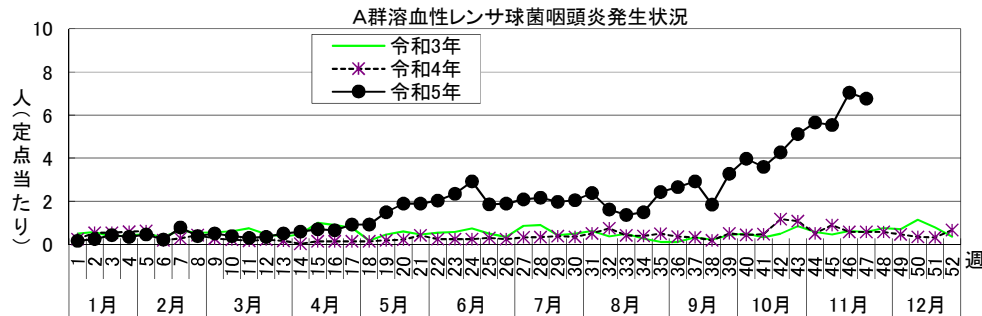
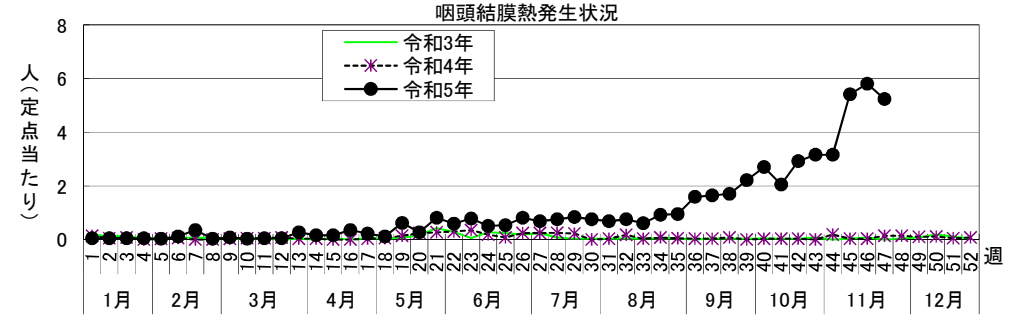
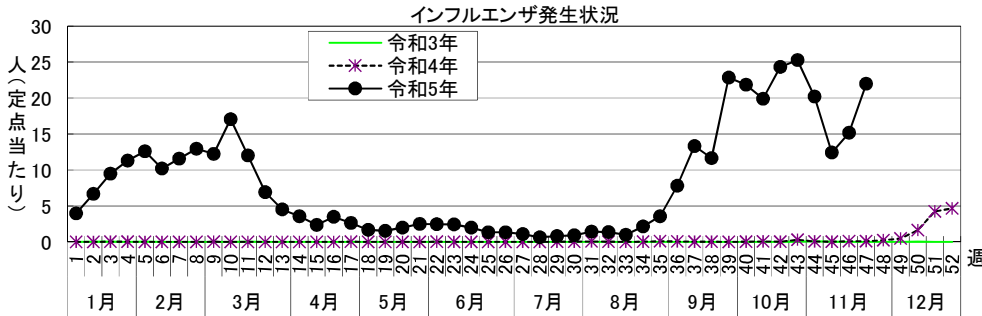
川崎市においては、令和5年に先天梅毒の報告はありませんが、全国では報告が相次いでおり、現時点での報告数は平成11年以降最多となっています。

感染症週報 [市内週報 令和5年第47週(令和5年11月20日～令和5年11月26日)]

令和5年11月28日

令和5年第47週感染症発生状況【川崎市内】

	届出(第47週)	累計(令和5年第1週以降)
1類感染症	なし	なし
2類感染症	結核 5件	結核 201件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件(O157)	腸管出血性大腸菌感染症 70件(O5 1件、O26 6件、O38 1件、O81 1件、O88 1件、O91 2件、O98 1件、O103 2件、O103及びO157 1件、O111 1件、O157 49件、O185 1件、血清群不明 3件)
4類感染症	E型肝炎 1件	E型肝炎 14件、デング熱 4件、日本紅斑熱 1件、レジオネラ症 12件(肺炎型 8件、ポンティアック熱型 3件、無症状病原体保有者 1件)
5類感染症 (全数把握疾患)	侵襲性肺炎球菌感染症 1件	アメーバ赤痢 8件、ウイルス性肝炎 7件(B型 4件、C型 2件、その他 1件)、カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症 24件、急性弛緩性麻痺 3件、急性脳炎 12件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件(孤発性)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 9件、後天性免疫不全症候群 10件(AIDS 2件、その他 3件、無症候 5件)、ジアルジア症 1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 9件、侵襲性肺炎球菌感染症 21件、水痘(入院例に限る。) 6件、梅毒 116件(早期顕症Ⅰ期 43件、早期顕症Ⅱ期 45件、晩期顕症 1件、無症候 27件)、破傷風 3件、百日咳 17件、麻しん 1件(検査診断例)
5類感染症 (定点把握疾患)	第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)咽頭結膜熱でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は21.98人と前週(15.16人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は6.76人と前週(7.03人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.24人と前週(5.81人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。	
新型インフルエンザ等感染症		新型コロナウイルス感染症 35964件 <small>・令和4年第5週以降は川崎市新型コロナウイルス感染症モニタリング状況の陽性者数 ・令和4年第39週以降は医療機関報告分のみを計上 ・令和5年第19週以降は5類感染症(定点把握疾患)に変更</small>
疑似症	なし	2件



罹患数・定点当たり罹患数、疾病、区別

集計対象: 令和5年47週

集計日: 令和5年11月28日

川崎市 男女合計	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	1,341	21.98	100	1.64	3	0.08	194	5.24	250	6.76	159	4.30
川崎	232	29.00	21	2.63	-	-	18	3.60	21	4.20	26	5.20
幸	75	10.71	9	1.29	-	-	16	4.00	22	5.50	13	3.25
中原	105	10.50	15	1.50	-	-	54	9.00	11	1.83	29	4.83
高津	377	37.70	14	1.40	3	0.50	14	2.33	34	5.67	53	8.83
宮前	236	23.60	15	1.50	-	-	61	10.17	75	12.50	12	2.00
多摩	228	28.50	18	2.25	-	-	21	4.20	51	10.20	16	3.20
麻生	88	11.00	8	1.00	-	-	10	2.00	36	7.20	10	2.00
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	4	0.11	17	0.46	2	0.05	6	0.16	2	0.05	2	0.05
川崎	-	-	1	0.20	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-
幸	-	-	2	0.50	-	-	1	0.25	-	-	-	-
中原	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17
高津	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮前	1	0.17	8	1.33	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-
多摩	2	0.40	2	0.40	-	-	3	0.60	-	-	1	0.20
麻生	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
中原	-	-	7	3.50	-	-	-	-	-	-	-	-
高津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多摩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		インフルエンザ (入院)		新型コロナウイルス感染症 (入院)	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	-	-	2	1.00	2	1.00
川崎	-	-	1	1.00	1	1.00
幸	-	-	-	-	-	-
中原	-	-	-	-	-	-
高津	-	-	-	-	-	-
宮前	-	-	1	1.00	1	1.00
多摩	-	-	-	-	-	-
麻生	-	-	-	-	-	-
他・不明	-	-	-	-	-	-

罹患数・定点当たり罹患数、疾病、年齢階級別

集計対象: 令和5年47週

集計日: 令和5年11月28日

インフルエンザ/COVID-19定点		9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	罹患数	94	362	97	87	76	114	44	13	7	1	
	定点当たり	1.54	5.93	1.59	1.43	1.25	1.87	0.72	0.21	0.11	0.02	
新型コロナウイルス感染症	罹患数	-	6	4	19	9	22	17	3	5	2	
	定点当たり	-	0.10	0.07	0.31	0.15	0.36	0.28	0.05	0.08	0.03	
小児科定点		9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	罹患数	-	-	-	-							
	定点当たり	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	罹患数	4	5	-	3							
	定点当たり	0.11	0.14	-	0.08							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	罹患数	21	41	2	13							
	定点当たり	0.57	1.11	0.05	0.35							
感染性胃腸炎	罹患数	8	14	-	6							
	定点当たり	0.22	0.38	-	0.16							
水痘	罹患数	1	2	-	-							
	定点当たり	0.03	0.05	-	-							
手足口病	罹患数	-	1	-	-							
	定点当たり	-	0.03	-	-							
伝染性紅斑	罹患数	-	-	-	-							
	定点当たり	-	-	-	-							
突発性発疹	罹患数	-	-	-	-							
	定点当たり	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	罹患数	-	-	-	-							
	定点当たり	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	罹患数	-	-	-	-							
	定点当たり	-	-	-	-							
眼科定点		9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	罹患数	-	-	-	1	3	3	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	0.11	0.33	0.33	-	-	-	-	
基幹定点		9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	
細菌性髄膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ（入院）	罹患数	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
	定点当たり	-	0.50	-	-	-	-	-	0.50	-	-	
新型コロナウイルス感染症（入院）	罹患数	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	定点当たり	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	

罹患数・定点当たり罹患数、疾病、週別

集計対象: 令和5年47週

集計日: 令和5年11月28日

		合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ	罹患数	7,284	1,485	1,542	1,233	758	925	1,341
	定点当たり	19.90	24.34	25.28	20.21	12.43	15.16	21.98
新型コロナウイルス感染症	罹患数	580	128	117	98	65	72	100
	定点当たり	1.58	2.10	1.92	1.61	1.07	1.18	1.64
RSウイルス感染症	罹患数	7	-	-	-	-	4	3
	定点当たり	0.03	-	-	-	-	0.11	0.08
咽頭結膜熱	罹患数	951	108	117	117	200	215	194
	定点当たり	4.28	2.92	3.16	3.16	5.41	5.81	5.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	罹患数	1,271	158	189	209	205	260	250
	定点当たり	5.73	4.27	5.11	5.65	5.54	7.03	6.76
感染性胃腸炎	罹患数	785	102	129	117	143	135	159
	定点当たり	3.54	2.76	3.49	3.16	3.86	3.65	4.30
水痘	罹患数	36	4	4	5	8	11	4
	定点当たり	0.16	0.11	0.11	0.14	0.22	0.30	0.11
手足口病	罹患数	205	55	38	35	35	25	17
	定点当たり	0.92	1.49	1.03	0.95	0.95	0.68	0.46
伝染性紅斑	罹患数	3	-	-	-	-	1	2
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	0.03	0.05
突発性発疹	罹患数	43	7	5	6	7	12	6
	定点当たり	0.19	0.19	0.14	0.16	0.19	0.32	0.16
ヘルパンギーナ	罹患数	36	16	7	7	1	3	2
	定点当たり	0.16	0.43	0.19	0.19	0.03	0.08	0.05
流行性耳下腺炎	罹患数	13	1	2	-	7	1	2
	定点当たり	0.06	0.03	0.05	-	0.19	0.03	0.05
急性出血性結膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	罹患数	112	20	24	21	16	18	13
	定点当たり	2.07	2.22	2.67	2.33	1.78	2.00	1.44
細菌性髄膜炎	罹患数	2	1	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.17	0.50	-	0.50	-	-	-
無菌性髄膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ（入院）	罹患数	10	1	1	-	3	3	2
	定点当たり	0.83	0.50	0.50	-	1.50	1.50	1.00
新型コロナウイルス感染症（入院）	罹患数	31	7	10	2	6	4	2
	定点当たり	2.58	3.50	5.00	1.00	3.00	2.00	1.00

